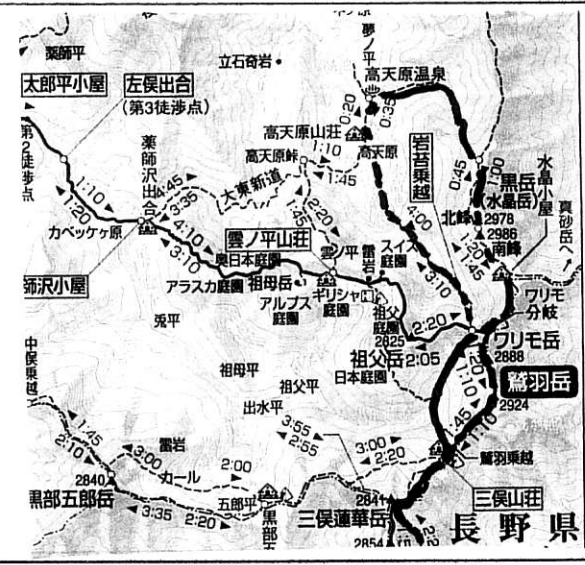


山名 [山域]	北アルプス(鷲羽・水晶)	目的と方法	温泉と展望とお花見
登山期間	8/9~8/12	山行形態	ピストン一部周回
参加人数	2人		

## 行動記録

- 9日 (土) 新穂高温泉 (5:45) - ワサビ小屋 (7:00) - 鏡平 (10:30、11:00) - 双六小屋 14:00 (泊) 夕食&宿泊 (7600円)
- 10日 (日) 双六小屋 (4:45) - 巻道分岐 (5:00) - (朝食) - 三俣峠 (6:30) - 三俣分岐 (7:00) - 岩苔乗越 (8:35) - 水晶小屋 (9:35) - 水晶岳 (10:35) - 温泉ノ頭 (11:45) - 温泉沢分岐 (13:20) - 高天原温泉 (14:20、16:30) - 高天原山荘 (17:00) (泊) 夕食&宿泊 (7600円・温泉無料)
- 11日 (月) 高天原山荘 (4:40) - 岩苔乗越 (7:55) - 分岐 (8:20) - ワリモ岳 - 鷲羽岳 (9:20、10:10) - 三俣小屋 (11:35、45) - 三俣峠 (12:25) - 双六小屋 (14:15) (泊) 素泊まり (5800円)
- 12日 (火) 双六小屋 (5:00) - 弓折岳 (6:10) - 大ノマ乗越 (7:00) - シシウドヶ原 (8:00) 秩父沢 (8:00) - ワサビ小屋 - 新穂高 (11:00) 温泉 = 11:50 発 = 高山 = 岐阜 = 岡崎駅

## 概念図



## 日誌

- 9日：天候は薄曇り&晴。夜行バス(名古屋・新穂高5500円)は 空いていて一人二席で安眠できた。出発が 6時近くになるのは仕方がない。当初は できれば 三俣山荘まで行く予定であったが あまりの暑さと 1500mの標高を登ることで 鏡平山荘で 双六泊に決定。登山者は想像した程ではない。笠ヶ岳への分岐あたりから 遠くに雷を聞く。雲行きもあやしくなり 少量の雨に合う。雨具を出すもすぐに 必要なくなり 小屋に着く。小屋は 大きい敷布団二枚に三人の広さで 狭く感じることもなく快適。小屋は 乾燥室も完備。たとえ雨に降られても 快適である。夜 雷雨。宿泊者には 水・お茶・お湯が無料サービス。
- 10日：快晴。朝食は 出発後展望とご来光を楽しみながらということで 三俣への巻道で摂る。ご来光・槍から連なる北アルプスの展望を楽しみながら 傍らには 高山植物。至福の朝食である。三俣山荘から黒部源流の巻道も 暑さを凌げ 又 高山植物を愛でながらの散策気分である。鷲羽への登頂は 翌日にし、水晶から温泉沢を下るコースに決定。岩苔乗越から 水晶小屋・水晶への登山道は イワギキョウが最も綺麗に映えるところであった。登山者の殆どが 乗越か 小屋に荷物を置き水晶への登山である。この日 水晶から温泉沢への下りは 4名。私たち以外は 単独の強健な男性がそれぞれ単独であった。頭から沢までは 植物さえも生えない荒れ果てたガレ場の急降下で 一步一步慎重に歩く。沢からの下りは 右岸左岸と 大きいごろ石を渡りながら進む。マークやケレンがあるので 迷う事はない。ただ 雨後で水量の多い時は 渡渉はかなり困難が想定されお勧めはできない。今回の目的の温泉につかり 長年温めてきた想いに満足した。
- 11日：晴・水晶池經由岩苔乗越から 鷲羽へ。頂上は まさに 北アのだ真ん中。360度の大展望を心ゆくまで楽しんだ。双六小屋まで 往路を。
- 12日：晴・のんびりと弓折岳經由で 下山。弓折の山頂も 予想以上の魅力である。

## 感想

同行のKさんとは 10年以上の山の友達である。何度も二人で山行してきた中なので 安心してお互いのにんびりコースの北アルプスの魅力に浸れた。天候にも恵まれた。